

# 危機下の子どもたち

子どもやその家族に影響を及ぼしている主な人道危機  
(2014年末時点)

## エボラ出血熱

1,870万人がエボラ出血熱の影響を受け、そのうち980万人が20歳未満の子どもや若者。

## コロンビア

50年にわたる紛争の被害者700万人以上のうち、半数が子ども。自宅からの強制避難、武装グループへの徴用、性的暴力などの暴力の影響を受ける。

## ナイジェリア

2014年、ボコ・ハラムによる襲撃で情勢不安が高まり、150万人が国内避難民に。その大多数が、女性や子どもたち。

## 中央アフリカ共和国

240万人以上の子どもが複雑な人道と保護の危機に陥っている。

## コンゴ民主主義共和国

武力紛争で270万人が自宅からの避難を強いられ、225万人以上の子どもが重度の急性栄養不良に陥っている。

## サヘル地域

栄養危機が続いており、5歳未満の子ども推定640万人が急性栄養不良に陥ると予想されている。

## 南スーダン

特に紛争の影響を受ける地域で栄養危機が続いており、全急性栄養不良率が30%に上る州も。23万5,000人以上の子どもが重度の急性栄養不良に陥っている。

## ウクライナ

紛争地域で暮らす520万人（うち、170万人が子ども）が人道危機の影響を受けている。100万人以上が国内外への避難を強いられ、紛争地域の140万人が人道支援を必要としている。

## イエメン

子どもたちが情勢不安や局地的に起こっていた紛争の拡大の影響を受けている。約160万人の子どもが栄養不良の影響を受けている。

## ソマリア

100万人以上が命を守るための支援が必要で、216万人がショックに非常に脆弱。最も支援を必要とするのは子どもたち。

## スーダン

ダルフル、コルドファン、青ナイル、アビエイで続く暴力で、310万人以上が自宅から避難。基本的なサービスへのアクセスの欠如により、子どもが病気や栄養不良に陥りやすい状態に。120万人の子どもが急性栄養不良に陥っている。

## シリアと周辺国

シリアの子ども世代全体が危険に晒されている。800万人以上の子ども（シリア国内避難民560万人と周辺国への難民170万人）が影響を受けている。

**パレスチナ** 2014年夏にガザ地区で起こった激しい戦闘で、539人の子どもが死亡、2,956人の子どもが負傷、10万8,000人（半数は子ども）が自宅を失った。

**イラク** 220万人（半数が子ども）の国内避難民を含め、520万人が危機の影響を受けている。また、国内にシリア難民を約22万3,000人受け入れている。

## アフガニスタン

武力衝突や自然災害で190万人が、安全な飲み水やトイレ、衛生に関する支援が必要。75万人が長期的な避難を強いられている。

## ミャンマー

紛争で29万7,000人が必要不可欠なサービスを受けられない状態。自然災害が起こりやすい環境も影響。

\* この地図は国境の法的地位について何らかの立場を示すものではありません。

\* 地図の色付けは、ユニセフの事務所が管轄する地域に基づく。

\* ① は、「レベル3」の人道危機（組織的な動員を要する突発的な危機、または複雑な人道危機が続く、事態が急速に大きく悪化するような危機としてユニセフが指定するもの）を示す。